

職員組合ニュース

〒606-8317 京都市左京区吉田本町 TEL: 761-8916 内線: 7615(本部地区) FAX: 751-8365 URL: <http://www.kyodai-union.gr.jp/> Email: office@adm.kyodai-union.org

総長選考会議内では学外委員案と学内委員案が並立

世論誘導する一方的報道

読売新聞が伝えたのは学外委員案のみ

3月18日教育研究評議会が開かれました。問題となっておりました総長選考会議の学内委員の選考方法に関し、総長から、従来と異なって4月1日に新しいメンバーによる臨時の教育研究評議会を開催し、そこで学内委員を決めたいと提案がありました。それに対し従来のように3月中に決めるべきだという意見が多く出され、3月26日に臨時の教育研究評議会が開かれることになりました。

教育研究評議会の総長提案議題が終わった後、総長選考会議の学内委員が発言しました。

「読売新聞はじめ、総長選考会議において、新しい選考制度が決まったかのような報道がなされていますが、そのような事実はありません。

まず、前回の総長選考会議では何も決定していません。実際には現在総長選考会議において、議長案とわれわれ学内委員案の二つが並立しております。」

学外委員案

- ①学内外からの推薦を受けリストアップする。
- ②総長選考会議が候補者を絞り込む。
- ③絞り込んだ候補者に関し、教育研究評議会と経営協議会のそれぞれから意見を求める。
- ④それを受け総長選考会議がさらに絞り込み、決定する。

学内委員案

- ①学内外からの推薦を受ける。
- ②学内での予備投票をおこなう。
- ③学内での意向投票をおこなう。
- ④それを受け総長選考会議が決定する。

●安西案は総長選挙廃止案！

ここに見られますように、学外委員案は、学内投票を、予備投票も意向投票も完全に廃止する案です。「学内の意向の調査の仕方」は、ただ「絞り込んだ候補者に関し、教育研究評議会と経営協議会に意見を求める」というだけです。つまり、3月16日に読売新聞の第一面を使って発表された京都大学総長選考会議の「方針が決まった」という内容は、総長選考会議の議長

(安西祐一郎現中央教育審議会会長)をはじめとする学外委員案のたんなる一方的報道であったわけです。しかもその新聞報道にある背景説明も、「学長のリーダーシップ」、「学内のしがらみ」等々従来の産業競争力会議や中央教育審議会の主張そのものです。

読売新聞の第一面がこのような完全な偏向報道に使われたという明らかな事実をわたくしたちはよく押さえる必要があります。